

さくらじま

139号

発行：
公益社団法人 鹿児島県社会福祉士会
会長 東 和冲
鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内
Tel 099 (213) 4055
Fax 099 (213) 4051

URL:<https://kagocsw.jp> E-mail:jacsw@po.minc.ne.jp

新年を迎えて

公益社団法人 鹿児島県社会福祉士会
会長 東 和冲



あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと思います。

去年は「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されました。新型コロナウイルス流行の中での開催で様々な制約はありましたが、素晴らしいパフォーマンスを目にし、感動を貰った大会でした。

新型コロナ流行は、日常生活に影響を与え、各分野・各家庭でも対策の連続だったと思います。本会でも相談業務などに影響があり、会議・研修会にオンライン・オンデマンドなどを取り入れました。制約に不便を感じつつも、地区支部や各委員会は知恵を出し合い、工夫を凝らして、新しい方法での活動を模索し、形にしつつあります。

例えば、地区支部研修会はコロナ禍の影響を直に受けた1つですが、今ではオンライン等での各地区共同開催が試行され、それを当たり前のものにしつつあり、更なる進化を模索しています。地区支部と事務局は準備に追われながらも盛り上がっています。今年、会員の皆様の実感できると嬉しいです。

去年のあいさつで、人と人との繋がりをさらに大事にし、知恵を集結して工夫を凝らし、逆境を逆手にとって更に会活動を強化できるような仕組みにトライするとか書きました。会員それぞれが地区支部活動等でそれを実現していくのを見るに、本会の地力は捨てたものではない、素晴らしいものがあると、会活動からも感動を貰いました。

去年から鹿児島国際大学、県精神保健福祉士協会、県社会福祉法人経営者協議会と連携協議会を始めました。鹿児島で事業企画、人材育成、課題解決のために連携していき、着実な進歩を目指したいと思います。

日本社会福祉士会と日本精神保健福祉士協会が危機感のもとに取り組んできた「子ども家庭ソーシャルワーカー」について一部報道がありましたが、未決着の懸案です。いずれにしても資格の将来を考えていく時期が来ています。現実問題への具体的対策、行政の任用改善とともに、我々が真剣に上乘せ資格を考えていかなければ、将来への課題を残してしまうかもしれません。利用者の権利擁護・意思決定支援の問題、SDGsの取り組みとともに我々の大きなテーマになっていくと思います。

毎年のお楽しみです。「さくらじま」「事務局だより」の原稿をお待ちしております。題材は何でも！いろいろな内容のものをお願いします。

最後に、皆様のご健勝とご多幸、ご活躍をお祈りいたします。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

社会福祉士会新年会に参加して

川畑 博行 (大島地区支部)

20220128 新年会の巻

コロナ禍の現状において、新生活様式には多面的な見方がある(悪い面はお見込みのとおり)。コロナ禍で ZOOM でなければ 300 キロ以上離れた遠隔地から、鹿児島市で開催される「新年会」に冬のあれる海で 13 時間の船に乗る、もしくは飛行機にて一泊二日で参加することはない。ZOOM のおかげで地元でも近頃は参加することがない外での集まりに出席することができた(良い面)。

しかも、家族と一緒に(ワンちゃん含む)に参加の方もいて、その方の「素」の部分も見えたりして、夫婦の参加で夫婦(めおと)漫才を見られたり、これまでの日常のなかでの集まりでは見ることができないものであった。

話題も松本 MC の進行がめっちゃ上手で、地域生活定着支援センターでいつも真面目に業務に取り組んでいる時には見えない鋭い「突っ込み」から職場での雰囲気も垣間見れて、親近感がぐっと増した。参加者もチャットを活用して本題とは別の楽しみ方で参加(本音披露)したり、それぞれのペースで参加できるのもよかった。たくさん笑うことができて、終了時にはスッキリ感もあった。そうそう、厳しい財政状況の中で、参加費無料なのに抽選会もあって、もしや当たるのでは(当たらなかった)とドキドキして心臓に負担をかけることもできた。明るく楽しく、気持ちりが前向きになれる会を開催していただいたことに感謝します。まあ、参加しないとこの楽しさはわかんないだろうな～、気になる方は来年参加ください。



松本 雄一郎 (総務企画委員長)

オンライン新年会を開催しました

昨年 12 月、東会長、須藤事務局長との雑談の中で、「忘年会新年会が長く実施できていないけど、ZOOM を使ってオンラインでの新年会をするというのはどうでしょう」「やってみましょうよ」という話の流れがありました。翌日には、早速須藤さんが案内文を準備され、オンライン新年会開催の運びとなりました。実施するとなった以上、多くの会員さんに参加してもら

いたいと考え、ふた月にかけて事務局だよりに案内文を同封したことで、20 人ほどの参加申込みをいただきました。

1 月 28 日 (金) 19 時 30 分、まず、東会長に開会のあいさつをしていただいた後、田中理事に乾杯の音頭を取っていただき、オンライン新年会の宴が開始されました。飲み物食べ物参加の皆さん各々に準備をしてもらい、缶ビール、ノンアルコールビール、お茶、炭酸水など、いろんな飲み物での乾杯でした。

その後、入会年度の新しい方から順番に自己紹介をしていただき、参加者同士の交流をしました。途中から参加いただく方もおり、その都度、自己紹介をしてもらい、田中理事には 2 度、3 度、4 度と、乾杯のご発声をしていただきました。途中から、飲み物が焼酎に変わったり、ラム酒に変わったりとしている方もおり、皆さん、交流をしながら飲食も楽しんでいたように思います。

宴もクライマックスになったところで、500 円分のクオカードが当たる大抽選会をおこない、運のよい 5 名の方が当選でした。(オンラインなので、その場ではお渡しできなかったのですが、当選者には後日発送でした。当選者の方々おめでとうございました！)

最後に、森元理事に閉会のあいさつをいただいて、楽しかったオンライン新年会はお開きとなりました。

オンラインの良さで、鹿児島県内一円、離島からの参加はもとより、仕事の都合で県外にいる方のご参加もありましたし、ご都合で遅れて参加する方々もいらっしやいましたが、時間を気にせず、気軽に途中から参加できたのではないかと思います。

また、当日、参加者が徐々に ZOOM に入室してくる中で、個人情報なので名前は上げられませんが、「参加申し込みをしていませんから」ということで、ZOOM 画面から外れて横にいらっしやった奥様 2 名にも、急きょ参加してもらったりと、オンラインならではの新年会だったと思います。

今後の忘・新年会がどのような形での開催になるかは分かりませんが、普段会えない会員の皆さんとの交流の場ともなると思いますので、ぜひ次回はおっと多くの方々のご参加をいただけたらと思います。